

会議録【要点筆記】

会議名称	令和7年度第4回米沢市観光振興委員会			
開催日時	令和7年12月12日(金) 9時30分~12時00分			
開催場所	置賜総合文化センター 203研修室			
出席者	(氏名) (所属団体等) 委員長 遠藤 勲 一般社団法人米沢観光コンベンション協会 理事 委員 入間川 悟 東日本旅客鉄道株式会社 米沢駅長 委員 遠藤 平右衛門 温泉米沢八湯会 委員 小形 喜代之 山形おきたま農業協同組合 米沢・川西地区統括支店長 委員 寒河江 大輔 上杉文化エリア懇話会 委員 高橋 弦子 米沢市社会福祉協議会 総務管理課長 委員 中嶋 朱実 NPO法人米沢伝承館 副理事長 委員 野本 真穂 山形県立米沢鶴城高等学校 教諭 委員 松田 智博 協同組合米沢市商店街連盟 理事長 委員 宮坂 匡 公益社団法人米沢青年会議所 まちづくり委員長 オブザーバー 宮嶌 浩聰 プラットヨネザワ株式会社 代表取締役 事務局 青木 一成 米沢観光コンベンション協会 事務局長			
欠席者	(氏名) (所属団体等) 副委員長 田中 明子 米沢商工会議所 理事兼事務局長 委員 黒澤 光高 米沢ブランド戦略会議委員 委員 黒田 三佳 米沢市国際交流協会 会長 委員 宮崎 市朗 公募委員 オブザーバー 小田 航平 プラットヨネザワ株式会社 取締役			
事務局出席者	富取課長、川井課長補佐、佐藤(功)主査、佐藤(祥)主任			
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・委員名簿 ・第5期米沢市観光振興計画の策定について <p>資料1 第5期米沢市観光振興計画(案)本冊</p> <p>資料2 第3回観光振興委員会 各委員からの意見等への回答</p> <p>資料3 第5期米沢市観光振興計画(案)概要版</p>			
会議内容				
【1 開会】				
【2 委員長挨拶】				
■委員長				
・私が参加している山形県の観光審議会で、先日、宿泊税が話題に上がった。観光審議会				

には前観光庁の長官を務められた方が参加しており、その方のお話では、宿泊税は宿泊業者のためだけのものではなく観光分野全体の財源であり、行政主導ではなく民間企業も一緒に考えていかなければならぬものとのことだった。宿泊税の徴収や使い方については民間によるチェックが必要であり、これは出国税についても同様である。現在策定中の第5期観光振興計画についても、行政だけではなく民間企業など様々な方と一緒に策定し、将来的に本市の利益になるようなものにしていければと思う。

<議事へ移る前に、事務局より協議事項等について説明する>

- 本会議の定足数について、委員10名が出席しており、総委員数の過半数を超えていることから、本会議は成立する旨説明する。
- 会議録の公開等について次のとおり説明し、協議を行う。
 - ・本日の会議録については、要点筆記とし、発言者名は記載しないこととする。
 - ・会議録は公開することとする。なお、次のいずれかに該当するとき、会議録の全部または一部を非公開とすることができます。
 - (1) 法令等の規定により公開することができないとされているとき。
 - (2) 会議での審議内容が、不開示情報に該当すると認められるとき。
 - (3) 会議を公開することにより、公正かつ円滑な審議が著しく阻害されると認められる場合で、審議会等の決定により、その会議の全部又は一部を公開しないとしたとき。
 - ・委員の方の個人情報については、国の機関、地方公共団体、関係団体、市民及び報道機関より、情報提供の依頼があった場合は、名簿に掲載してある範囲に限って提供させていただく。
- 委員より意見等無いため、上記のとおりの対応とさせていただく。
- 本会議の議事録署名人について、遠藤委員長、寒河江委員へお願いする。

【3 議事】

【協議事項 第5期米沢市観光振興計画の策定について】

- 事務局より、前回の会議から変更した部分について説明（資料1 計画（案）本冊）
- 委員
 - ・温泉に関する記載が「温泉を活用した付加価値の高い体験の提供」の部分のみとなつておらず、残念に思っている。温泉の活用をもっと考えていただければと思う。
 - ・インバウンドへのプロモーションやインバウンド受入強化という点が追記されたが、計画にこのように掲載するとなれば、しっかりと実績を出せるように今後施策に取組んでほしい。
 - ・「市民が自分たちのまちについて学ぶ機会の提供」の部分に記載されている、子どもたちへの学習機会の提供に関する取組について是非推進してほしいと思うが、市役所内の他の関係部署との連携をしっかりと行ってほしい。

■委員

- ・「市民の豊かさに繋がる地域交通基盤の整備と連携推進」の部分にある二次交通の整備についてであるが、市民が快適に過ごすということを前提に整備していくことが重要であるため、この点をふまえながら推進していただきたい。
- ・おまつり広場の駐車場有料化について、以前、これと同様の話があった際に、伝国の杜の駐車場は県有地であり有料化できないという話があった。今後、おまつり広場の駐車場を有料化したとすると、無料で駐車できる伝国の杜の駐車場がかなり混雑するのではないかと懸念しているため、この点を考慮してほしい。

■委員長

- ・二次交通整備の件、カーシェアリングとライドシェアの文言が今回削除されているが、こうしたサービスの導入についてタクシー会社等の民間事業者が完全に反対しているわけではないと思うので、整備の推進について今後検討してほしい。
- ・おまつり広場の駐車場有料化の件、駐車料金を駐車した方からいただくという方法の他に、協力金や寄付金をいただくという方法もあるため、幅広い視野で検討してほしい。また、いただいた料金の使途をまず検討する必要があるのではないかと思う。

■委員

- ・「人手不足の解消と新たな人材獲得や育成に向けた取組」に記載している「観光客や市民（学生）が地場産業に触れ」の部分について、「（学生）」と記載する必要はないのではないか。
- ・「地域貢献型観光コンテンツの実施」に記載している具体的な取組に「清掃活動」という文言があるが、非日常を体験することが目的である観光において「清掃活動」という文言を使用することはあまり好ましくないのではないか。

■事務局

- ・「計画推進の役割」の実施主体に「学生」を追記していることから、御指摘いただいた部分から「（学生）」は削除することとする。
- ・御指摘いただいた「清掃活動」と記載している部分について、清掃活動はボランティアに含まれることから、「清掃活動」という文言を削除することとする。

■委員

- ・「計画推進の役割」の（1）に追記された「米沢らしい」という部分についてはどのような意味であるか教えてほしい。
- ・「市民が自分たちのまちについて学ぶ機会の提供」に記載している「副読本の配付・活用」という取組について、副読本を新しくするといったことはできないか。またこの部分に、歴史上の人物の名前（鷹山公、謙信公など）を記載することはできないか。記載することで市民の学びに繋がると思われるため。

■事務局

- ・「米沢らしい」ということについては、おしょうしなの心を持って接客することや、米沢の歴史や伝統文化などについて観光客に聞かれたら答えられるといったような様子や態度を表したものである。

- ・副読本を新しくする件については学校教育課との連携が必要であるため、新しくするという話が出た際には連携して行っていきたい。また、計画に歴史上の人物の名前を載せるということはせず、記載内容は現行のままとさせていただきたい。

■委員

- ・「市民が自分たちのまちについて学ぶ機会の提供」の「歴史や郷土について学ぶ講座の実施と積極的な周知」という取組について、どのようなことをやっているのか教えてほしい。

■事務局

- ・過去の例だと、米沢の歴史や文化に関する講座を図書館が主催して行っているということがある。また最近では、民間企業が主体となり上杉鷹山公に関する講座を開催しているという例もある。
- ・米沢観光コンベンション協会では、「米沢歴史文化ふれあい講座」を実施しており、おしゃうしなガイドの育成や市民の方の学びに繋がる機会を提供している。

■委員長

- ・「歴史や郷土について学ぶ講座の実施と積極的な周知」の具体的な取組内容の最後の部分に、観光関連団体等を中心とした学習機会の提供または講座の開催といった取組について追記してほしいと考えているがいかがか。

■事務局

- ・追記することについて検討したい。

■委員

- ・「重点的視点」の（3）について、「宿泊や交通等の統計データを活用し」とあるが、どのようなデータを活用し、どのような方をターゲットにするのか。また、（3）の内容が情報発信と受入体制の整備となっており、この2つの内容を分けて新たに（5）を追加すると良いのではないか。

■事務局

- ・ターゲットを予め設定するというニュアンスではなく、観光庁や米沢観光推進機構等のデータ、本市で独自に収集しているデータを活用し、状況に応じてターゲットを設定しそのターゲットに合わせたプロモーションや商品開発を都度していくということを想定している。
- ・「重点的視点」として、「インバウンド受入体制整備」を追加するという件については委員の皆様の意見により検討したいと思う。

■委員

- ・具体的な施策の中にインバウンド受入強化の取組やランドオペレーター設置というものがあり、この「重点的視点」（3）で言っている受入体制の整備とはこのような取組を指すと思われる。プロモーションについては、国内外を問わずデータを活用しターゲットを設定ししていくということにし、インバウンド受入体制の整備についてはプロモーションとは別に記載する方が良いと思われる。インバウンド関係の施策については、プロモーションと受入体制の整備の区分が曖昧で一緒にされがちであるため、プロ

ロモーションと受入体制整備は別にする方が良いと思う。

■事務局

- ・「重点的視点」の（5）を追加するという件について検討することとする。

■委員

- ・「計画推進の役割」の（3）について、「DMOは、合意形成のもとに観光関連事業者や団体等を支援していく」という内容の方が適切なのではないか。
- ・DMOの役割を計画内で説明する必要があるのではないか。
- ・「ふるさと納税と移住定住の促進に向けた情報発信」について、ふるさと納税の返礼品として宿泊クーポンがあるため、そのクーポンを活用して宿泊客を増やすという内容の方が良いのではないか。そのような内容になると、「財源獲得のための新たな取組」に記載する方が適切であると思われるがいかがか。
- ・「財源獲得のための新たな取組」において、運営のスリム化という記載があるが、スリム化が観光資源の魅力の低下に繋がらないか不安に思う。
- ・インバウンド関係の施策が今回追記されているため、インバウンドに関するKPIや目標値を設定することが必要なのではないか。
- ・「受入環境の整備」といったハード整備を想像させる記載内容が全体的にあるが、明らかに投資が必要な取組については、財源に税が含まれてくることから具体的に記載するべきではないか。

■委員長

- ・「ふるさと納税と移住定住の促進に向けた情報発信」について、記載内容が観光分野とは異なるように思われる。ふるさと納税関係については「財源獲得のための新たな取組」に記載するのが適切であるように思うがいかがか。
- ・「財源獲得のための新たな取組」に記載している「運営のスリム化」について、スリム化ではなく「運営の再検討」などに記載内容を変えた方が良いのではないか。
- ・おまつり広場の駐車場有料化の取組について、本計画に記載することが適切なのか。

■事務局

- ・インバウンドに関するKPIや目標値の設定については検討することとする。
- ・おまつり広場の駐車場について、整備してから時間が経過しており、改修が必要ではないかと考えているところである。その改修のための財源の一つとして駐車場有料化を検討しているという内容である。議会でも議員から意見が出ている状況である。
- ・受入環境の整備に関する取組について具体的な記載をしてほしいとのことであるが、本計画は今後5年間の計画期間となっていることから、現時点でこのような取組を行うというように具体的に記載することは困難であることを御了承いただきたい。
- ・ふるさと納税については、担当課である商工課より「ふるさと納税を財源として考えるのではなく、本市のファンになってもらうことやリピーターにつながるという表現にしてほしい」との意見があったことからこうした記載内容としている。記載する場所は現行のままとさせていただきたい。
- ・「財源獲得のための新たな取組」の「運営のスリム化」の文言については、おまつりや

イベントを運営するスタッフの負担が大きいという部分が含まれたものとなっている。文言の変更を検討したい。

- ・「計画推進の役割」(3) のDMO関係の部分については、観光関連事業者や団体等との合意形成のもとに様々な施策に取組んでいくという意味でこのように記載している。

■委員長

- ・DMOに関する記載内容において合意形成という文言が多いように思われる。DMO設立によって合意形成は既にできていると思っているが、そのような意味ではないのか。

■事務局

- ・DMOを設立することが合意形成であるという意味ではない。観光関連事業者等の多様な関係者と合意形成を行った上で、様々な施策を決定、実施するという意味になる。

■委員長

- ・現在の内容であると合意形成することが目的になっているように思われるため、「DMOにおける合意形成により事業者や団体を後押しする」といった記載内容へ変更していただければと思う。

■委員

- ・本市には魅力のある観光資源がたくさんあり、本市は一度訪れるとまた来たいと思える場所だと思う。観光客にまた来たいと思ってもらうためには、来てもらうきっかけが重要であり、そのためには情報発信を行うことが必要である。この点、引き続き情報共有を行いながら協力していきたい。
- ・先ほども話題に出たが、DMOによる合意形成について、合意形成を重視するよりは、実際に行動するという考えが重要だと思う。合意形成により決定したことを実際にやってみて検証するということが重要だと思うためこの点考慮していただきたい。

■委員長

- ・「重点的視点」(4) の中で、「米沢市版DMOでの合意形成のもと行えるよう」という部分があるが、ここに「スピード感を持って」といった内容を追記することが望ましいよう思うため、この点、事務局で検討してほしい。

■事務局

- ・いただいた御意見について検討することとする。

■委員

- ・「温泉を活用した付加価値の高い体験の提供」の部分に関連して、持続可能な観光地を実現していくためには温泉地の整備が重要だと考えている。温泉地の整備といった文言や、こうした整備を推進する体制づくりといった文言を計画内に追記していただきたい。
- ・先ほど、インバウンドのKPIを設定するという話が出たが、インバウンドについては世界情勢等に影響されることがあるため、5年間の値を現時点で設定することは困難であると思う。「インバウンドへのプロモーション」の部分に、インバウンドの入込数等について1年間の目標を年次で設定しプロモーションを行っていくということを追記する方が良いのではないかと思う。

■委員長

- ・環境整備のために国の交付金を活用するということも考えられるかと思う。交付金を活用して整備を行うといったような文言を計画に記載することは可能か。

■事務局

- ・通常、計画内においては財源まで詳しく記載していないところである。
- ・「インバウンドへのプロモーション」部分への年次計画設定の追記については検討することとする。

■委員長

- ・「観光関連団体や事業者との連携と各種ツーリズム等推進による観光魅力づくり」についてであるが、現在アドベンチャーツーリズムが海外の方に注目されているため、ここにアドベンチャーツーリズムを追記してほしい。

■事務局

- ・検討することとする。

■事務局より計画（案）の概要版について説明（資料3 計画（案）概要版）

■委員長

- ・これで議事を終了する。

■事務局

- ・各委員から本日出された意見については事務局で検討し、後日委員長と協議の上、修正させていただければと思う。

【4 その他】

■事務局

- ・今後のパブリックコメントと会議のスケジュールについて説明。

【5 閉会】

この会議録（会議要旨）が正確であることを承認します。

会議録（会議要旨）署名人

委員 遠藤 晃

委員 寒河江 大輔